

2017.12.15 作成 (文責 : 江田)

ビジネスプロデュースカ養成ワークショップ (通称 : VIPS2017)

第 6 回ワークショップ 振り返りレポート

■第 6 回ワークショップ

- ・日時 2017年12月15日(金) 10:00~18:00
- ・会場 アクトシティ浜松研修交流センター401 研修交流室



12月15日(金)、第6回となるビジネスプロデュースカ養成ワークショップ(通称 VIPS2017)が開催されました。

1. ガイダンス

(1) 江田講師から、技術調査についての話がありました。

- ・情報を調査するには、何のために調査するのか、どのくらい労力をかけるのかなどを明確にしておく必要がある。
- ・文字に書かれている情報と、書かれていない情報がある。
- ・文字に書かれている情報から技術調査をするには、博士論文と特許検索が有効である。
- ・特許検索は、特許情報プラットフォームが使える。

https://www7.j-platpat.inpit.go.jp/tkk/tokujitsu/tkkt/TKKT_GM201_Top.action

- ・技術調査にあたって、Fタームを積極的に利用することをすすめる。

(2) 高谷講師から、ビジネスプロデューサについての話がありました。

- ・5回のワークを通して参加者が選んだテーマ10例が、一覧で示された。
- ・そのテーマのうち「どれが興味あるか」について挙手をしてもらったところ、興味があると4人が挙手したテーマがあった。
- ・興味を持たれた理由は、テーマがわかりやすく、きちんと内容を伝えているから。

- ・戦略オプションテーマが決まったら、自分がどうしたいのか自分の言葉で語る。不確実だが、この道筋で進んでいこうという明確な意志を表明する。
- ・見える化、話せる化、魅せる化の流れを知る。
- ・魅せる化に大事なものが3つある。
 - ①現場に照らして、現実を踏まえて、現物をもって、の3現主義。
 - ②新奇性、納得性、利益創出感を喚起できる要点を押さえる。
 - ③進化するストーリーのワクワク感を。受け手に響き、動かすインパクトあるストーリーテリングの演出。
- ・語彙力（ごいりよく）が大事。研究者は専門用語が多い。一般の方に伝わるような語彙力を養ってほしい。おすすめ図書は以下である。

石黒圭、「語彙力を鍛える 量と質を高めるトレーニング」、光文社新書、2016年

2.チームセッション・個人発表

3チームに分かれて、作業を進めました。

また、最後には、受講生全員より、情報共有や他の受講生の進捗状況の把握を兼ね、検討の現状について発表（質疑含めて5分間）を行いました。



3.しめくくり

稲田講師から、ホームワークに関する説明がありました。

今回は、チーム・個人ごとの進捗に従って、次回の準備を進めてもらいます。

また、ホームワークを進めるにあたり疑問点がある場合には、事務局を通じて問い合わせるよう指示がありました。

4.チェックアウト

各受講生が、振り返りシートを作成し、第6回のワークショップが終了しました。

<参考>

2017/12/15 (金) 開催

ビジネスプロデュースカ養成ワークショップ2017 (通称: VIPS2017) 第6回

アクトシティ浜松 研修交流センター401会議室

【テーマ】 チームセッション

 出席講師 稲田講師、古川講師
 高谷講師、江田講師
 (敬称略)

タイムテーブル	内容	担当
10:00 ~ 10:20	ガイダンス① ・技術調査の方法について	江田講師
10:20 ~ 10:40	ガイダンス② ・ビジネスプロデューサーの役割	高谷講師
10:40 ~ 12:30	チームセッション ・各担当講師によるチームセッション	受講生 × 講師・サポーター
12:30 ~ 13:15	昼休み (各自昼食)	
13:15 ~ 17:20	チームセッション ・各担当講師によるチームセッション ・個人発表 (検討の現状について)	受講生 × 講師・サポーター
17:20 ~ 17:40	総括コメント ・本日の振り返りとホームワークの説明	稲田講師 古川講師
17:40 ~ 18:00	チェックアウト ・振り返りシート作成	受講生